

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	島津明人	所属	東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会産業保健心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 80 名（うち認定心理士 1 名） 非会員 0 名（うち認定心理士 0 名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>本研究会は、臨床心理学、産業・組織心理学、社会心理学、精神医学、公衆衛生学などの多領域にわたる国内外の研究者や実践家らとともに、労働者の安寧（健康、幸福、安全）に関する研究と実践について、総合的に検討することを目的として設立された。</p> <p>本年度は、主に以下の3つの活動を行った。</p> <p>(1) マイケル・ライター教授 特別講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年5月19日（土）、東京大学 ・内容：カナダのアカディア大学心理学部よりマイケル・ライター教授を招聘した特別講演会を行った。日心会員ほか70名程度が参加し、職場の人間関係とバーンアウト、ワーク・エンゲイジメントとの関連についての講演と講演内容に基づく活発な討論が行われ、同教授との共同研究が計画された。 <p>(2) アジア太平洋心理社会的要因に関する専門家ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年8月2日（木）、3日（金）、東京大学 ・内容：職場の心理社会的要因と健康についての専門家ワークショップを行った。日心会員ほか豪、韓国、中国、マレーシア、仏、独、タイなどから約50名が参加した討論とグループワークを通じて、アジア太平洋地域の専門家ネットワークの強化が図られた。 <p>(3) 日本心理学会ワークショップ「職場のストレスとメンタルヘルス：職場組織に対するポジティブアプローチ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年9月12日（水）、専修大学 ・内容：本ワークショップは、第66回大会から継続して企画されているシンポジウムおよびワークショップ「職場のストレスとメンタルヘルス」の第11回目に相当する。日心会員ほか80名程度が参加し、職場組織に対するポジティブなメンタルヘルスの実現を目指すためのアプローチについて、話題提供と討論が行われた。 <p>次年度は、(1) 日本心理学会第77回大会でのシンポジウムの企画、チュートリアルワークショップの企画、(2) 韓国産業ストレス学会理事長を招聘しての特別講演会などを予定している。</p>		